2026

4 5 6 7 8 9 10 11 12

2027

1 2 3

特別展 — 会場 — 平成知新館

4/18〜6/14

特別展

北野天神

京都の北西、天門の地にある北野天満宮は、菅原道真（すがわらのみちざね）を祭神としてまつる御社です。令和9年（2027）に道真薨去から1125年目の式年大祭「半萬燈祭（はんまんとうさい）」が執り行われることを機に、京都国立博物館では北野天満宮に伝わる国宝・重要文化財17件を中心とした全国の天神信仰ゆかりの品々を一挙公開する特別展を開催します。
史上初となる国宝「北野天神縁起絵巻（承久本）」全巻全場面公開のほか、重要文化財の「弘安本」「光信本」「光起本」など多くの北野天神縁起絵巻を展観し、説話上の北野天神誕生の場面に迫ります。また、調査によって発見された作品や、日本各地の天満宮・天神社、社寺に伝わる名品の数々から、これまであまり語られてこなかった天神信仰の多様な側面と、これらが日本文化の中で果たしてきた重要な役割を紐解きます。

国宝　北野天神縁起絵巻（承久本）　巻第六（部分）　京都・北野天満宮蔵
（通期展示、この場面は5月19日〜6月14日展示）

東帯天神像（根本御影）
京都・北野天満宮蔵
（5月5日〜6月14日展示）

重要文化財　太刀　銘于時慶長十二丁未十二月日信濃守国廣造／北野天満天神豊臣秀頼公御造営之時　京都・北野天満宮蔵（通期展示）

特集展示 — 会場 — 平成知新館 3F-1・2、2F-1・2

7/14〜9/6

特集展示

辰馬考古資料館の名品

―鉄斎との交友、考古学に寄せるまなざし―

兵庫県西宮市に所在する辰馬考古資料館は、昭和51年（1976）、辰馬悦蔵（1892〜1980）によって設立されました。京都帝国大学で考古学を修めた悦蔵は、家業である酒造業を継いだ後も考古学への情熱が冷めることなく、私財を投じて考古資料の蒐集・保全に尽力しました。これらはいずれも深い考古学の見識に基づくもので、特に銅鐸については日本屈指のコレクションとなっています。
また資料館には、悦蔵の祖父・悦叟（1835〜1920）と親交のあった富岡鉄斎（1837〜1924）の優品も多く伝えられています。本展では、実業に携わりながらも、美術や考古学に飽くなき探求心をささげた辰馬悦叟・悦蔵のまなざしを辿ります。

重要文化財　袈裟襷文銅鐸
大阪府鹿谷寺出土
辰馬考古資料館蔵

特集展示 — 会場 — 平成知新館 1F-3・4

7/14〜9/6

特集展示

埋納（アンダーグラウンド）―地下に願いを―

古代より人々はモノに祈りを託し、地面の下に埋めてきました。こうした埋納行為には、土地を浄め守る願いや、タイムカプセルのように遠い未来へ教えを伝える願いが込められており、仏教の思想が深く関わっています。本展では、近畿出土の遺物を中心に埋納品を展示し、地下に眠り生き続ける、人々の祈りをたどります。

線刻瓦（僧形）　京都国立博物館蔵

特別展 — 会場 — 平成知新館

10/6〜11/29

特別展

源氏物語 王朝のかがやき

平安時代に紫式部によって著された『源氏物語』は、日本文学史を代表する王朝物語です。雅な宮廷を舞台に繰り広げられる光源氏や個性豊かな女性たちの恋愛模様、人生模様は、後世読み継がれる中でさまざまな文化や美術を生み出しました。本展では、源氏物語の場面やモチーフを表した麗しい絵画、工芸品を一堂に集め、後世につくられた写本や注釈類、さらには芸能への広がりまで、過去最大規模、約250件の文化財を紹介することによって、わが国の文化に豊かなかがやきを与え続けたこの名作の魅力を再発見します。
京都国立博物館での源氏物語展の開催は、約50年ぶりとなります。どうぞご期待ください。

源氏物語絵巻（盛安本）　葵（部分）　京都国立博物館蔵

特集展示 — 会場 — 平成知新館 1F-2

12/22〜3/22

特集展示

茶の湯の道具と次第（しだい）

茶の湯の道具は、本体を保護するための箱も含めて、大切に受け継がれてきました。こうした本体に付属する一式を「次第」と呼びます。次第には様々なものがありますが、制作当初から添っている「共箱」、所有者が変わるたびに誂えられた「仕覆（しふく）」なども、本体とともに珍重されてきました。
本展では、「大井戸茶碗　銘喜左衛門」（国宝、京都・孤蓬庵）をはじめとした茶道具の名品とともに、それぞれの「次第」をあわせて展示いたします。一つ一つの茶の湯の道具が積み重ねてきた、歴史や背景に触れる機会となれば幸いです。

国宝　大井戸茶碗　銘喜左衛門
京都・孤蓬庵蔵

特集展示 — 会場 — 平成知新館 2F-2

12/22〜2/7

新春特集展示

ひつじづくし―干支を愛でる―

令和9年（2027）の干支は羊。羊にはみなさんも普段お世話になっていますよね。そう、ウールは羊毛から作られる繊維です。ただ、日本では、広大な牧用地が確保しにくく、北海道以外ではなかなか馴染みがない動物です。しかし、中国やヨーロッパでは一般的な家畜で、羊肉も盛んに食べられています。
この展示では、羊に関係する文化財を紹介しますが、馴染みがないだけに、珍品だらけになる予感がしませんか。ぜひ、確認しにおいでください。

花卉鳥獣図巻（部分）　国井応文・望月玉泉筆　京都国立博物館蔵

特集展示 — 会場 — 平成知新館 1F-4

2/13〜3/22

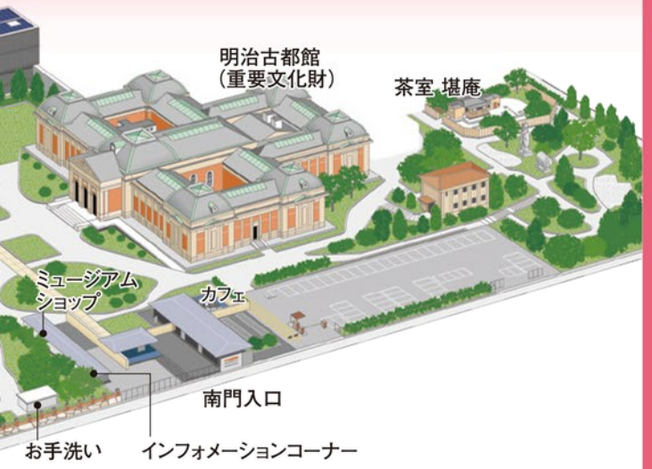
特集展示

雛まつりと人形

関西地方で流行した華やかな御殿飾り雛を中心に、各種の雛人形とさまざまな京人形を紹介する恒例の展示です。

有職立雛（狩衣姿）　京都国立博物館蔵

※出陳作品および展示期間は、都合により変更される場合があります。



京都国立博物館 年間スケジュール

KYOTO NATIONAL MUSEUM
Exhibition Schedule

2026.4 — 2027.3

音声ガイド

平成知新館名品ギャラリーでは、音声ガイド（有料）をお楽しみいただけます。日本語、英語、中国語、韓国語のほか、ジュニア版も4か国語でご用意しています。

講堂〈シアター〉

平成知新館地下1階の講堂では、収蔵品に関する特別番組を、350インチの大画面でご覧いただけます。また、コンサートなどの有料のイベントも行っています。上映予定や、イベント詳細については、随時ウェブサイトをご確認ください。

関連講座など

展覧会や展示作品に関連した講座を随時行っています。講座の予定は、ウェブサイトや博物館だよりなどでお知らせします。

夏期講座

さまざまな分野の研究者が一つの共通のテーマに沿って、最新の研究成果を盛り込んだ発表を行う集中講座を、毎年夏に開催しています。今年度は「国宝再考Ⅱ」というテーマで7月24日（金）·25日（土）に行います。1日3講、計6講座です。

＊定員200名、有料、要事前申込。
会場：平成知新館 講堂

表紙：重要文化財　源氏物語画帖　空蝉（部分）　土佐光吉·長次郎筆　京都国立博物館蔵

ご利用案内

開館時間 9:30〜17:00 金曜日は20:00まで開館

※入館は各閉館の30分前まで。
詳しくはウェブサイトなどをご覧ください
特別展期間中は開館時間が変更されることがあります

名品ギャラリー〈平常展示〉観覧料

一　般	700円	高校生以下および満18歳未満、満70歳以上、障害者とその介護者1名、キャンパスメンバーズ（含教職員）	無　料
大学生	350円		※すべて要証明

※特別展については、そのつど定めます。
また、特別展期間中、名品ギャラリーは休止します。
※名品ギャラリー展示室は、展示作業などのため、一部閉室となる場合があります。詳しくはウェブサイトなどをご覧ください。

休館日 月曜日（月曜日が祝日·休日の場合は開館し、翌火曜日休館
ただし、5月4日（月·祝）は開館）

全館休館 4月17日（金）、12月28日（月）〜令和9年（2027）1月1日（金·祝）
※都合により臨時休館する場合があります。
随時ウェブサイトなどでお知らせします。

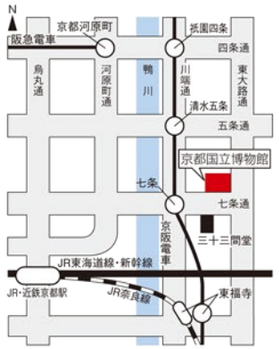
名品ギャラリー休止期間

	3月24日（火）	〜	4月16日（木）
	6月16日（火）	〜	7月12日（日）
	9月8日（火）	〜	10月4日（日）
	12月1日（火）	〜	12月20日（日）
令和9年（2027）	3月24日（水）	〜	4月18日（日）

名品ギャラリー休止期間は、下記の料金にて庭園の屋外展示をご覧いただけます

一　般	300円	高校生以下および満18歳未満、満70歳以上、障害者とその介護者1名、キャンパスメンバーズ（含教職員）	無　料
大学生	150円		※すべて要証明

※有料（一般のみ）にてご入館の方には、庭園ガイド冊子がつきます。



交　通

◎**JR**…京都駅下車、市バスD2のりばから206·208号系統にて博物館三十三間堂前下車、徒歩すぐ
プリンセスラインバス京都駅八条口のりばから京都女子大学前行にて東山七条下車、徒歩 1 分
京都駅よりJR奈良線にて東福寺駅下車、京阪電車にて七条駅下車、徒歩7分
◎**京阪電車**…七条駅下車、徒歩7分
◎**近鉄電車**…近鉄丹波橋駅下車、京阪電車丹波橋駅から出町柳方面行にて七条駅下車、徒歩7分
◎**阪急電車**…京都河原町駅下車、京阪電車祇園四条駅から大阪方面行にて七条駅下車、徒歩7分

ご来館の際は公共交通機関をご利用ください。駐車場は有料となっております

京都国立博物館

〒605-0931 京都市東山区茶屋町527　TEL 075-525-2473（テレホンサービス）
https://www.kyohaku.go.jp/　公式X · Instagram　@KyotoNatMuseum

一般社団法人 清風会の支援を受けて作成しました　2026年2月

Museum Map
京都国立博物館マップ

平成知新館

設計はニューヨーク近代美術館新館、東京国立博物館法隆寺宝物館などを手掛けた谷口吉生氏。日本的な空間構成を取り入れた直線を基調とする展示空間には、陶磁·考古·絵画·書跡·工芸·彫刻といった分野ごとに展示室が設けられています。各展示室ではさまざまなテーマのもと、館蔵品·寄託品を取り交ぜて展示しており、京文化の粋をお楽しみいただけます。作品保護のため1か月〜1か月半ごとに展示替えを行っているので、足を運ぶたびに新しい作品との出会いがあります。

明治古都館（重要文化財）

当館のシンボルともいうべきレンガ造りの建物。設計者は迎賓館赤坂離宮（旧東宮御所）なども設計した、日本で唯一ともいえる宮廷建築家の片山東熊。ヨーロッパの華麗なバロック様式を取り入れながら、東山の自然に調和した美しい景観を作り出しています。玄関の上にある三角形の破風には、仏教世界の美術工芸の神とされる毘首羯磨と伎芸天の像が彫刻されています。昭和44年（1969）に表門、札売場および袖塀とともに国の重要文化財に指定されました。免震改修等の基本計画を進めるため、現在展示は行っておりません。

茶室 堪庵

昭和33年（1958）に上田堪一郎氏より寄贈された、金森宗和好みの真珠庵「庭玉軒」を写したとされる数寄屋造りの茶室です。内部をご覧いただけるほか、茶会などにもご利用いただけます（茶室利用は有料、要予約）。